

ガダルカナル島 戦艦「比叡」探索 事前調査 (2017年3月20日～25日)

目的

29年度予定している戦艦比叡の沈没位置の特定(音響機器を用いて探査)を目的としているため、今回はその事前調査として現地に赴き、許認可、技術的可能(日本国大使の協力、ソロモン政府の許可、使用船舶、資機材調達に関する情報収集)かの調査を行った。

結論・・・許認可および技術的可能かの見通しはたった。



池田理事長、北野メンダナホテル山縣総支配人

沈没位置が複数あるためどこが信憑性あるかとの議論。山縣総支配人の主張(比叡搭乗員と照月搭乗員の証言:戦後慰霊を毎年実施海域)は南東方向のホニアラ港前面の海域(D点:推進500m)



池田理事長、山縣総支配人、国立博物館 Lawrence KIKO氏 調査を行うには許可申請が必要。教育省へ提出する。申請は受理OK見込み。

	<p>池田理事長、山縣総支配人、  <b>Captain Judah Kulabule</b> 港長 海図等確認。  <b>IronBottomSound</b> 沈没戦艦の特集記事雑誌閲覧。  潮位表 (Tide Table) は無いが、電子潮位表 (オーストラリア発行) はある</p>
	<p>木宮日本国大使、池田理事長、山縣総支配人、  <b>AGS</b> 林  プロジェクト計画について説明。ご協力は得られる見込み</p>
	<p>ホニアラ港  キタノメンダナホテルで佐藤さんの紹介を受ける。  備船手配が可能。  資機材等 (車・発電機・金具・溶接・備品・燃料・食品) 手配可能。  キタノメンダナホテル山縣総支配人のご協力は得られる見込み。</p>

ガダルカナル島 現地事前調査（2017年3月20日～25日）



山縣さん 木宮大使、池田、林



ソロモン政府国立博物館担当ローレンスキコさん



ホニアラ港



サボ島とアイアムボトムサウンド（D地点）



D地点（予想）



ガ島海岸（ホニアラ港近く）